

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	エル放課後等デイサービス		公表日	2026年2月25日		利用児童数	16	回収数	12
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		1	活動内容を十分見学していないので分からないとしました。十分とは言えない気がするが、頑張ってくれていると思う。	活動時の様子や環境設定について情報共有を行う。限られたスペースの中で安全確保を図りつつ、活動内容や環境の工夫を継続する。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2		1	見に行ったことがないので細かいことがわかりません。何名ぐらいの職員さんで対応くださっているのか、あまり分かってません。常に何人の人が関わっているのか知りません。	基準人員を上回る職員配置とし、原則として利用児童1名に対し職員1名以上の体制で運営している。見学や面談時にも体制を説明し、安心して利用いただけるよう努める。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2		1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12						
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1		1	モニタリングの際にお話すると、よく理解してくださっていると感じますし、貰い物や工作など、活動も発達に応じた効果的な内容になっていると感じます。	日々の支援内容やねらい、専門的な視点について、連絡帳や面談等で引き続き丁寧に共有する。	
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			4	まだ利用回数が少なく、本人支援の内容を満たした内容か判断できません。	支援プログラムの内容と日々の活動の関係について、連絡帳や面談等で具体的に共有していく。	
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	12						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			2	ガイドラインに詳しくないので判断が難しいです。	個別支援計画の内容や位置づけについて、面談時等に分かりやすく説明していく。ガイドラインとの関係性も含め、保護者へ丁寧な情報共有に努める。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12						
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			2	色々な活動内容を考えてくださっていると感じています。	活動内容のバリエーションやねらいが分かるよう、写真付きのお便りで活動紹介等で継続的に発信していく。	
	11	地域の施設(図書館・公園・商店街等)への外出等を通して、地域の方との交流の機会がありますか。	8	1		3	交流というほどのことはできていない気がするが難しいのではないかと思います。	引き続き、散歩や季節行事等の中で無理のない地域との関わりを検討し、分かりやすく情報共有を行う。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11		1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9		1	2	開所当初で準備できていなかったのかもしれない。	今後は面談やモニタリング時に計画を示しながら丁寧な説明を行う。	
	14	事業所では、日々の連絡帳やSNS等の連絡ツール、送迎時や個別面談等を通して、家族に対して相談支援や情報提供が行われていますか。	12						
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12				こまめに連絡を取ってくださいます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1			助言というより相談です。お互いに意見を交わして建設的な話し合いができていると思います。	今後も保護者との対話を大切にし、日頃から相互に相談し合える関係が築けるよう努める。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1					
	18	事業所では、保護者同士の交流やきょうだい支援等について、家族のニーズを把握し、必要に応じて関係機関(相談支援専門員等)と連携していますか。	3	1		8	求めていなかったので分かりません。	ご家族のニーズの必要性を丁寧に確認し、必要時は相談支援専門員等と連携できる体制を周知する。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	2		相談や申入れがある際は、いつでもLINEや電話で連絡いただけるよう改めて周知・説明を行う。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1		LINEや電話を適宜使用しながら、こまめに連絡をくださいます。		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11		1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時等の対応	23	事業所の事故防止・緊急時対応・感染症対応等の各種マニュアルに基づき、発生を想定した訓練が実施されていますか。あわせて、これらのマニュアルについて、説明や案内がよいと思いますか。どのような形で知りたいですか。	5	1	6	訓練がされているなら内容をお知らせプリントで知りたいです。	各種訓練の実施状況や内容について、今後はお知らせ等で分かりやすく共有していく。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2		10	非常食や物品の備えはされているが、子供と一緒に避難訓練はされているのか？保護者に伝わっているのか不明。	避難訓練の実施状況や内容について、今後はお知らせ等で分かりやすく共有していく。	
	25	事業所の支援は安全が十分に確保された上で行われていると思いますか。あわせて、子どもの安全を確保するための計画について、説明や案内がよいと思いますか。どのような形で知りたいですか。	10	1	1	面談の時に説明されていると思います。面談の時やお手紙などで案内していただくと安心かと思えます。安全については心配していません。安全についても、追加対応があればプリントでお知らせしてほしいです。	安全確保に関する取組や計画について、面談時やお知らせ等で定期的な案内を行う。	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	5	今までそのようなことがなかったのでわかりません。。	事故発生時の連絡体制や対応手順について、改めて文書等で周知を行う。緊急時は速やかな連絡と状況説明を徹底し、安心していただける対応に努める。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10		1	1	楽しく過ごしています。	引き続き、子どもの安心感を大切にしたい関わりを行う。保護者と状況を共有し、不安要因がある場合は把握と改善に努める。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			1	連絡帳を読むと思いで喜んでます。	今後も活動の様子が伝わる記録・共有を行い、楽しみにつながる支援を継続する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1			いつもありがとうございます！！	引き続き安心して利用いただける支援の提供に努める。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	エル放課後等デイサービス			公表日	2026年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 ※令和6年度の関連法改正により「指導訓練室」は「発達支援室」へ用語変更	8	1		児童により、スペースの確保(医療機器等)が異なるため都度支援者間での理解協力が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	安全に安楽を最優先に、状態に応じて、2人介助でケアに入る。	看護師体制の整備 人員確保
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2		出入口の段差の改善
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	日々の清掃を徹底している	窓が開かないため換気ができない。空気清浄機あまり機能していない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	3		会議など職員が参画できる機会を明確にする
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	意向の把握理解はできても、改善につなげていくのはなかなか難しい。優先度の高いものから進めていくようにしている。	支援員と保護者が関わる機会があまりない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	月一回の会議、日々のミーティングや振り返りの時間を利用して意見を出し合い業務改善につなげている。	
	9	現在、事業所では第三者による外部評価は実施していないが、今後導入された場合、評価結果を業務改善に活かせると思うか。	7	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	全体研修と個別の研修	OJTの実施、外部研修への費用補填
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	支援者会議を行っていて発達の意見を交換できる時間がある	アセスメント方法の工夫
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2	共通理解が望ましいが、各職員での考え方の相違もあるので小さなことでも話し合いを重ねていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1		努力はしているが時間の制約あり、その点の検討は必要。
	15	こどもの適応行動の状況を、日々の支援や行動観察等を通じたアセスメントにより確認しているか。	8	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	サービスの部分で、事業所としてできる範囲で個別にケアができています	地域支援・地域連携
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	職員一人ひとりの強みを活かし、様々な活動が経験できるよう工夫されている季節や行事を考慮している。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		児童通所後、事前に確認した内容が突然変更になることがある。チームで連携して支援するためにも急な変更はなくなるよう改善して欲しい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	送迎等で不在の職員にも共有できるよう、SNS連絡ツールを利用している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	9	0		
	27	地域の保健・医療・福祉・教育等の関係機関と、必要に応じて保護者や相談支援専門員等を通じて連携できる体制を整えているか。	9	0		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	9	0		連携強化
	29	新1年生受け入れ時には、就学前に利用していた児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。また、その他の児童については、区担当職員や相談支援専門員等と連携し、情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		
	30	現在、卒業児童はいないが、今後、学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合に、それまでの支援内容等の情報提供ができる体制を整えているか。	7	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 ※杉並区立「こども発達センター」	5	4		ニーズに合わせた相談の実施
	32	地域の施設(図書館・公園・商店街等)への外出を通して、地域の方々と交流する機会を設けているか。	7	2		
	33	現在、(自立支援)協議会等への参加実績はないが、今後案内があった場合には、事業所として地域と連携するため参加を検討する必要があると思うか。	8	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、日々の連絡帳やSNS等の連絡ツール、送迎時や個別面談等を通して、家族に対して相談支援や情報提供を行っているか。	9	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1		

保護者への説明等	40	保護者同士の交流やきょうだい支援について、保護者のニーズを把握し、必要に応じて関係機関(相談支援専門員等)と連携して対応しているか。	7	2		きょうだい支援の把握
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	地域の展示会への参加や近隣商店街との交流等を通して、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。また、今後、保護者への周知も行う必要があると思うか。	6	3		定期的な訓練が必要
	47	業務継続計画(BCP)は策定しているが、定期的な訓練は未実施である。今後、非常災害の発生に備え、避難等の訓練を実施する必要があると思うか。	8	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		保護者の事情により足りない情報がある児童もいる
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食物アレルギーに対応したことはないが指示書に基づき対応を行なっている。	
	50	現在、安全計画は未作成であるが、今後、安全管理のための計画を作成し、研修や訓練等の体制を整える必要があると思うか。	9	0		
	51	現在、安全計画は未作成であるが、今後、子どもの安全確保に関して、家族等と連携し、取組内容を周知していく必要があると思うか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		職員の意識向上
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	3		
54	やむを得ず身体拘束を行う場合の対応について、職員間で共有されているか。また、必要時には、子ども・保護者への説明や計画への記載を行う体制が整っているか。	9	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	エル放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日	～	2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日	～	2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 19日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の児童理解に基づいた丁寧な個別支援と安心できる関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントや日々の観察、支援者会議等を通じて児童の特性や状態を共有し、個別支援計画に基づいた支援を行っている。</li> <li>・支援前後の打合せや記録の徹底により、職員間で情報共有を行い、チームで支援の統一を図っている。</li> <li>・児童の安心感を重視し、体調や情緒の変化に応じた柔軟な支援や2名体制での介助等、安心・安全を最優先とした対応を行っている。</li> <li>・保護者からも「理解してもらっている」「安心して通所している」との評価が得られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画のねらいや支援内容について、面談や日々の記録等を通じて、保護者との共通理解を一層深める。</li> <li>・職員間での事例検討等の機会を増やし、専門性と支援の質の向上を図る。</li> <li>・医療的ケアや重症度の高い児童への対応力向上のため、外部研修や内部研修を計画的に実施する。</li> </ul>
2	保護者との丁寧な情報共有と信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳、SNS、送迎時の対話、面談等を通じて日々の様子を細やかに共有し、相談しやすい関係づくりに努めている。</li> <li>・保護者からの相談や申し入れに対して、迅速かつ丁寧に対応する体制を整えている。</li> <li>・保護者評価においても「こまめに連絡がある」「安心して任せられる」等の意見が多く、信頼関係が構築されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置や活動環境、支援のねらい等について、写真やお便り等も活用し、より分かりやすい情報発信を行う。</li> <li>・面談時には支援プログラムやガイドラインとの関係性も含めて説明し、支援内容の理解を深める。</li> <li>・きょうだい支援や保護者同士の交流について、ニーズの必要性を丁寧に確認し、必要に応じて関係機関と連携できる体制を周知する。</li> </ul>
3	職員間連携と安全を重視した支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援前後の打合せや日々のミーティング、記録共有により、職員間での連携体制を確保している。</li> <li>・ヒヤリハットの共有や記録の徹底により、事故防止と再発防止に向けた意識向上を図っている。</li> <li>・学校を含む関係機関や、相談支援専門員との連携を図り、児童の状況の共有を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難訓練や感染症対応、事故対応等の訓練を定期的の実施し、その内容を保護者へ分かりやすく周知する。</li> <li>・業務改善に関する意見交換の機会を明確化し、職員がより参画しやすい体制づくりを進める。</li> <li>・看護師体制や人員確保について継続的に検討し、安全で安定した支援体制を維持する。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	物理的環境・設備面の制約(スペース・設備改善)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童の障害特性や医療的ケアの必要性により、活動スペースや医療機器設置スペースの確保が個々で異なり、限られた空間の中で調整が必要となっている。</li> <li>・出入口の段差や換気設備等、建物構造上の制約があり、環境面の改善に即時対応できない部分がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた空間の中で安全確保を最優先とし、活動内容や時間帯の調整等により柔軟な環境設定を行う。</li> <li>・設備面については、可能な範囲で段差対策や換気対策等の改善を段階的に検討する。</li> <li>・活動時の環境設定についても、写真や見学、面談等を通じて保護者へ分かりやすく情報共有し、理解促進を図る。</li> </ul>
2	安全対策・訓練等の実施と周知の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時・事故対応・感染症対策・災害対策等のマニュアルは整備しているが、定期的な訓練の実施や保護者への周知が十分とは言えない状況がある。</li> <li>・保護者評価においても、訓練実施の有無や内容が分かりにくいとの意見が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練や感染症対応訓練等を年間計画に位置づけ、定期的の実施する。</li> <li>・訓練の実施状況や安全対策について、お便りや面談等で保護者へ分かりやすく周知する。</li> <li>・ヒヤリハット共有を継続し、事故防止意識の向上と再発防止策の検討を行う。</li> </ul>
3	情報発信・業務改善参画の充実不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容や職員配置、支援プログラム等について、保護者に十分伝わっていない部分があり、分かりやすい説明や情報発信の工夫が必要である。</li> <li>・業務改善や会議への職員の参画について、時間確保や参加機会が明確でない場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置や支援のねらい、活動内容について、連絡帳やお便り、面談等を通じて具体的に情報共有を行う。</li> <li>・会議や振り返りの時間を明確に設定し、職員が業務改善に参画しやすい体制を整える。</li> </ul>